



TITLE:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 122

AUTHOR(S):

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 122. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1962, 122: 73-80

ISSUE DATE:

1962-11-10

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186917>

RIGHT:

京都大学瀬戸臨海実験所振興會
 水族館月報

NO. 122

1962. 10月(11月10日)

録 事

10月1日 番所山植物園は、従來の動物園を含めて動植物園を一本化し、その入
 場料を50円として、当水族館との共通券を発売してほしい旨の要請あり、委員会の承
 認を得て本日よりこれを実施する。なおこれに関連して、番所山植物園との間に結んで
 いる、観光券及び共通入場券取扱に関する取次書の一部を変更、同時にいままで番所山
 植物園より受取る交通公社発行の水族館・動植物園共通観光券の回収手数料が回収総金
 額の2%であったものを、3%とした。観光バス会社や旅行斡旋業者との間に共通入場
 券の契約が成立した場合と同様、回収手数料は明光観光券と同率となった。

10月27日 日本通運株式会社和可山支店と、当水族館との間に、当館入場に関
 する契約が成立した。

業 務 概 況

◎ 10月の入場者数

区 分	大 人	中 人	小 人	合 計
水族館発売 個人	12894	33	230	13157
団体	20797	—	—	20797
交通公社発売	18888	—	—	18888
近畿日本発売	1836	—	—	1836
日本旅行会発売	166	—	—	166
明光バス発売	27317	—	145	27462
合 計	81898	33	375	82306
累 計	428275	1614	14501	444390
旅 料	旅館従業員		21	584

団 体 : 一般 373組, 学生 19組, 合計 392組

◎ 10月の事業収入 (今年度累計)

観光券売上金	1780,668	12,119,170
窓 口 発 売	931,840	5,520,178
交通公社クーポン	356,503	1,361,503
近畿日本ツリストクーポン	35,893	103,339
日本旅行会クーポン	4,482	26,450
明光バス観光券	451,950	5,107,700※
予金・積立金利息	—	59,824
手 数 料	19,564	327,948
絵 は が き 拵 下	48870	457,090
パンフレット拵 下	1,560	58,950
南極生物報告拵 下	—	1,830
魚 類 拵 下	—	20,400
雑 収 入	3,034	28,229
諸施設改善積立金より繰入	—	4,542,400
災害時資金より繰入	—	168,760
合 計	1,853,696	17,784,601

※ 明光バス観光券未収分

大人券 29498枚

小人券 162枚

(74)

水族館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	263,594	1,961,986	荒 蕪・左海旅費他
会 議 費	8,914	90,769	
備 品 費	9,595	778,640	
消 耗 費	33,813	908,940	
事 業 費	207,816	761,769	
維 持 費	1,970	632,931	
其 他諸経費	94,754	1,141,280	
積 立 金	368,142	2,282,534	
予 備 費	—	—	
合 計	988,598	8,558,849	

実験所経費

費 目	金 額	累 計	備 考
研 究 費	29,640	77,990	内海・肺腫委員研究旅費
奨 学 金	16,420	82,560	原田研究旅費
備 品 費	—	2,650	
消 耗 費	—	—	
刊 行 費	—	307,900	
役 務 費	—	847,716	
合 計	46,060	1,318,816	

伝物館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	—	26,020	
備 品 費	—	—	
消 耗 費	—	—	
役 務 費	—	—	
合 計	—	26,020	

臨 肺 費

摘 要	金 額	累 計
	—	471,6820

支出合計

(今年度累計)

水族館経費	988,598	8,558,849
実験所経費	46,060	1,318,816
伝物館経費	—	26,020
臨 肺 費	—	471,6820
合 計	1,034,658	14,620,505

(75)

◎ 10月末現在高

前月よりの繰越	2,345,058
今月の収入合計	1,853,696
今月の支出合計	1,034,658
現 在 高	3,164,096

◎ 前年度との比較

	1961	1962	増 減
入 場 者 数	67843	82306	+ 14463

水族館記事

- ◎ 2日 稚賀崎一本釣漁師より、カンムリベラ (40cm) 1個体が入槽。
- ◎ 9・10日 みさき公園水族館の採集班が来館、かねて依頼してあった、マボヤ、ヒトデ
 等、大阪湾産の無脊椎動物を受贈、また一本釣を主にした共同採集を行なった。
- ◎ 15日 夜向はかなり気温が下るようになったので、熱帯淡水魚槽に保温器具をセッ
 トした。
- ◎ 21～25日 G水槽冷却装置の電気回路が故障し、冷凍機が停つたため、同槽の水溫
 は19.5℃まで上昇したが、タカアシガニは4個体とも無事であった。
- ◎ 25日 A水槽のツバメウオは、入槽以来1ヶ月ぶりで餌(エビの刺身)についた。
- ◎ 26日 中水槽室裏に保存中の固定標本を整理し、固定液を補充した。
- ◎ 29日 徳磨水族館のあつせんで、兵庫県赤穂産のトビハゼ幼魚50個体が入槽、卓
 上水槽室で飼育を始めた。
- ◎ 30日 冷却装置の電気回路を再点検し、電磁継電器をとり替えて、全く修復したが
 翌31日、今度は冷凍機の油圧保護用閉器よりガス洩れがあり、すぐに大阪金
 屋へ修理を命じた。
- ◎ 今月の採集作業(釣および潜水)は、ベラ類に重点をおいた結果、そのコレクション
 は、以前から飼育中のものを合わせて、17種になりT6・D両水槽で人気を聚めている。
- ◎ 白点病の被害は、まだあとを断たず、殊に4/24水槽、第二水槽室で著しかつたが、
 諸対策が除々にではあるが効果を示し、水槽の内容は前月より充実してきた。

◎ 10月の採集作業

日 時	採集場所	採集方法	人数	主な目的
4日夕方	船場場前	磯 釣	2	クロメジナ
6日午後	北浜の磯	潜 水	2	サンゴ類
8日 "	塔島の東側	"	2	ツバダシ、ベラ類
9日夕方 10日午前	四ツ島沖～鴨井沖	一本 釣	2	中型磯魚
17日午後	塔島東側	潜水 水	2	ベラ類
21日 "	"	"	"	"
25日 "	"	"	"	"
27日 "	動物園下の磯	磯 釣	3	ネブタイ類

◎ 主な採集水族名

魚類：キンセンイシモサ キハツソク クロメジナ オハグロベラ ススキベラの一種 カンムリベラ
キコウセン ゴイシベラ コガシラベラ ハクセンベラ アカニジベラ モンツキクマノミ
シナセンスズメダイ ササウシノシタ クロユリハゼ

無脊椎動物：ベニウミトサカ アカトゲトサカ コビノウトサカ ハナガササンゴ イソバナ
オトヒメエビ ゴシキエビ コマナガニ アオリイカ ハナウミシダ オオウミシダ アオスジヒトデ

◎ 主な購入水族名 (今月よりエビ網漁始まる)

魚類：アカエソ ゴテンアナゴ モンガラドウシ クツノオトシゴ アカマツカサ イトウタイ
イトアマガシラ ヒメコトビキ イシキダイ イラ カンムリベラ トビハゼ イロウナウウオ
カンランハギ ホウボウ ガンゾウビラメ

無脊椎動物：カノコイセエビ リウリエビ テナガコブシガニ セミエビ アカナガツガニ
アミノコギリガザミ ショウジンガニ ボウシュウボラ ヒトデ オキモズルモズル
エボヤ マボヤ

◎ 10月31日現在飼育中の動物は、332種、3790個体以上で、その内訳は、次の通り。このうち観覧水槽に収容展示中の動物は315種3680個体以上。

カイメン類	2種	多毛類	4種	ウミシダ類	4種
ビトリ虫類	2種	カブトガニ類	1種	ヒトデ類	8種
ウミトサカ類	4種	フジボカメナテ類	2種	クモヒトデ類	5種
ヤギ類	7種	エビ類	13種	ウニ類	13種
ウミエラ類	1種	ヤドカリ類	6種	ナマコ類	6種
イソギシヤク類	9種	カニ類	23種	ホヤ類	6種
イシサンゴ類	11種	アメフラシ類	2種	軟骨魚類	6種
ツノサンゴ類	1種	ニ枚貝類	13種	硬骨魚類	150種
ハナギシヤク類	1種	巻貝類	26種	カメ類	3種
ホウキムシ類	1種	タコ類	1種		

資 料

⑤ 10月の気象 (09時観測)

第1水槽室 (水温・比重は40.24水槽)

	上 旬	中 旬	下 旬
晴天日数 : 18	5	7	6
室 温 (°C)	$\frac{21.2 \sim 26.7}{23.8}$	$\frac{17.8 \sim 24.2}{20.8}$	$\frac{18.5 \sim 21.8}{19.8}$
水 温 (°C)	$\frac{21.60 \sim 25.22}{23.68}$	$\frac{19.00 \sim 23.20}{22.04}$	$\frac{20.60 \sim 22.62}{21.89}$
比 重 (°15)	$\frac{24.34 \sim 24.80}{24.57}$	$\frac{24.13 \sim 24.74}{24.45}$	$\frac{24.58 \sim 25.74}{24.96}$

新 館 (水 温)

H水槽 (°C)	$\frac{22.3 \sim 25.0}{24.1}$	$\frac{21.5 \sim 23.9}{23.0}$	$\frac{21.8 \sim 22.8}{22.4}$
T8水槽 (°C)	$\frac{22.5 \sim 25.5}{24.3}$	$\frac{21.8 \sim 24.0}{23.6}$	$\frac{21.9 \sim 23.5}{22.7}$

取 入 口

水 温 (°C)	$\frac{22.20 \sim 25.20}{24.02}$	$\frac{20.22 \sim 24.20}{23.42}$	$\frac{21.88 \sim 23.20}{22.47}$
比 重 (°15)	$\frac{24.38 \sim 24.67}{24.51}$	$\frac{24.33 \sim 24.80}{24.56}$	$\frac{24.54 \sim 26.34}{24.88}$

来 訪 録

10月1日 水産庁調査研究部研究サニ課寺矢哲氏視察のため来館。

10月8日 神戸交通局工務課二井恵一氏、同技術吏員岩崎幸雄氏は、当館の水槽冷却装置を視察のため来館。

10月22日 鳥羽水族館飼育係長北村秀策氏視察のため来館。

昭和37年11月10日 (NO.122)

編集兼
発行者

宮地 伝三郎

発行所

瀬戸内海興業株式会社
和歌山県白浜町
瀬戸内海興業株式会社
(Tel. 白浜温泉515)